

【全国の自治体で初】 海外からの介護人材の受入を推進するため、ベトナムのドンア大学で「訪日前日本語等研修」を実施します！

横浜市では、2025年には市内で約8,500人の介護人材不足が見込まれていることから、新たな介護人材の確保と将来の介護人材育成に取り組んでいます。

海外からの介護人材の受入れを推進するため、ドンア大学において横浜市内の介護施設で就労を希望する学生や卒業生等（以下「学生等」）を対象に、訪日前に日本語等の研修を実施します。

1 経緯

- 横浜市は、これまでにベトナムの3都市6大学等と介護人材受入促進のための覚書を締結しました。
- 介護現場におけるスムーズな就労には、日本での生活に支障がないレベルの日本語や介護の現場で必要とされる実践的な日本語及び介護の知識が欠かせません。
- そこで、これらの知識を来日前に身につけるための研修を、ベトナムのドンア大学と協力してベトナム現地で実施します。

2 概要

○研修目的

海外からの円滑な介護人材の受入れを目的に、特定技能を含む介護に関するすべての在留資格に対応できるよう、必要な日本語レベルや知識の習得を目指し、介護現場におけるスムーズな就労を支援します。

○研修内容

①日本語能力研修

入国時に必要な日本語レベルとして、ある程度の日常会話ができ、生活に支障がない程度の日本語能力（N4以上）を目指します。

②介護の日本語研修

介護の現場で必要とされる実践的な日本語の研修として、介護現場における専門用語や介護現場における日常業務の会話等を習得します。

③介護の技能研修

介護業務の基盤となる能力や考え方等に基づき、利用者の心身の状況に応じた介護を一定程度行うことができるレベルの知識を習得します。

○受講対象者

横浜市内の介護施設で就労を希望する学生等（36名）

○開校日

令和元年7月1日

【ドンア大学における授業の様子】



3 今後の展開

- 市内の介護施設で、本研修を受講したドンア大学の学生等を受け入れます。
- 本市と介護施設は、住居の確保や生活相談等を行い、来日する学生等を支援します。
- 覚書を締結している他の大学等とも、同内容の研修を実施します。

参考 バトナムの都市及び大学との覚書（MOU）について

日程	覚書の締結先（相手方）	
	自治体	大学等
平成 30 年 7 月 25 日	① ホーチミン市 （労働局長）	① バククォアナムサイゴン短期大学（学長） ② レティリエン職業訓練校（校長）
平成 30 年 7 月 26 日	②フエ省 （労働局長）	③ フエ医科短期大学（学長） ④ フエ医科薬科大学（学長）
平成 30 年 7 月 27 日	③ダナン市 （外務局長）	⑤ ドンア大学（学長）
平成 31 年 4 月 10 日	—	⑥ ハイフォン医科薬科大学（学長）

お問合せ先

健康福祉局高齢健康福祉課長 佐藤 泰輔 Tel 045-671-2355